

明るい未来をめざして

三重県 津市立橋北中学校3年 西井 萌々花

皆さんは、政治に興味関心がありますか？「政治は難しくてよくわからない」「政治家の仕事で自分には関係ない」と、思っていないですか？

2015年、若者の政治意識を高め、若者の声を政治に反映させようと、選挙権年齢が18歳に引き下げられました。そして、翌年の参院選は、初の18歳選挙ということで、大きな話題となりましたが、18歳・19歳の投票率は5割にも満たず、20代では3割という低さでした。昨年の衆院選では、さらに下がってしまったそうです。それは、なぜでしょうか？

「まだ選挙権もない中学生には、政治なんて関係ない」と、思っていた私ですが、昨年の後期、生徒会長となり、生徒会活動を体験してみて、政治について少し考えられるようになりました。

生徒会活動は、本来、全校生徒による全校生徒の為の活動です。しかし、ほとんどの生徒が、生徒会執行部に任せっきりで無関心のように思えました。そこで私は、何とか皆に興味を持ってもらい、活動に参加してもらいたいという思いから、「アンパンマンBOX」の設置を公約にあげ、実行しました。

「アンパンマンBOX」とは、意見・要望・悩み等、だれでも自由に投書してもらい、それに、愛と勇気を持ってお答えするといった目安箱のようなものです。皆に親しみのあるキャラクターを用いることで、生徒会活動を身近に感じてもらおうという想いがありました。すると、予想外に反響が大きく、たくさんの投書がありました。中には、ふざけたものや、実現できない投書もありましたが、私は、全ての投書に誠心誠意をもって答えるようにしました。たとえ実現出来ない要望であっても、理由をきちんと説明し、時にはユーモアを含め、全ての投書への返答を掲示しました。その結果、どのような意見にも返事が返ってくるのが好評で、投書用紙が足りなくなるほどたくさんの投書が集まりました。そして、いくつかの要望を実現する事が出来ました。中でも、3年生を送る会にて、サプライズで生徒と先生方が一丸となり、フラッシュモブを成功させたことは、最も印象に残っています。このように、多くの生徒の意見を取り上げ、よりよい学校づくりのために反映させたことで、生徒会活動を、より身近に感じてもらえるようになったのではないかと思います。これらの生徒会活動で、私が経験したことは、政治にもあてはまるのではないのでしょうか？

テレビや新聞で見聞きする政治家の言葉は、私たち若者には、難しくて堅苦しいです。また、政治家のスキャンダルや失言、暴言が政治の場で取り上げられ、大事な議論が進まなくなるのは、悲しい気持ちになります。これでは、政治を身近に感じることは、とてもできないでしょう。

最近では、インターネットやSNSを用いた選挙活動が、多くの候補者によって行われています。しかし、これらも大人向けの難しい言葉や政策ばかりが並んでいて、私たち若者の生活からは、縁遠く感じられます。これでは、インターネットやSNSに親しみのある若者であっても、距離を置いてしまいそうです。もっと、若者に向けて分かりやすい情報を発信し、若者が意見や要望を気軽に伝え反映する事ができるようになってほしいです。そうすることで、若者が、政治を身近に感じる事が出来、興味関心を持てるようになるはずですよ。また、インターネット投票が利用出来るようになれば、投票に行くのが面倒くさいという若者でも投票するようになるのではないかと思います。

まだまだ、政治が、私たち若者に身近なものであるという実感はありません。しかし、政治に関心を持つことは、私たちの未来を考えることでもあります。難しい、面倒くさいと目をそらさず、受け身の姿勢ではなく、自分で情報を集め、自分の考えを持つことが大切です。そして、私たちが選挙権を持った時、与えられたチャンスを逃さずに、自分の意見を政治に反映させることで、私たちの明るい未来を築いて行きましょう！